科目ナンバリング	G-LAS10 80030 LB41						
授業科目名<英訳>	開発政治学 Politics of Development			担当者所属職名・氏名	総合生存学館 教授　　関山　健		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	人文社会科学系			使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水3	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（総合生存学館の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

ある国の経済社会がより良く発展するためには、適切な法制度と良い統治が欠かせない。国際協力の現場でも、発展途上国や経済移行国に対する法制度整備やガバナンス支援は重要である。学術的な研究成果を具体的な課題解決に役立てる際にも、何らかの法制度として社会実装するプロセスを要する場合が多い。

では、どのような制度やガバナンスが経済社会の持続可能な発展を促進しうるのか？地球規模課題の解決を視野に入れると、今後の法制度やガバナンスはいかにあるべきか？こうした問いに答え、経済社会の発展を促す法制度とガバナンスの在り方を探求することが本講義の目的である。

本講義の考察と実践の対象は、法制度が未整備の開発途上国だけでなく、先進国の法制度改革も範疇に入る。また、環境保護、防災減災、省エネなど、理工学的な知見に基づいて整備される法制度分野も増えていることから、文理融合の幅広い視野を持った専門家の活躍が今後一層期待される。

本講義は、経済社会の持続可能な発展を促す法制度とガバナンスの在り方について理解を深め、その実現策を自ら考える力を養うことを目的とする。まず経済社会の発展に関する様々な考え方を概観した上で、法の支配、政治体制、民族や男女の平等、政府と市場の関係、貿易投資規制、海外援助が、経済社会の発展といかなる因果関係を持ちうるか考察する。

[到達目標]

・法制度やガバナンスと経済社会の持続可能な発展との因果関係について、基礎的な知識を修得する。

・より良い法制度とガバナンスの在り方を考え、その整備支援策を提案できる基礎力を養う。

[授業計画と内容]

基本的に以下のようなスケジュールで講義を行う。授業中、積極的にディスカッションを取り入れる。なお、講義の進捗等により、スケジュールを変更する場合がある。

（総論）
1　イントロダクション
2　経済社会の持続可能な発展
3　経済発展の決定要因
4　持続可能な発展と法制度
（各論）
5　法の支配
6　政治体制
7　民族紛争
8　ジェンダー問題

開発政治学(2)へ続く↓↓↓

開発政治学(2)

９　行政改革
１０　汚職
１１　政府と市場
１２　国際貿易
１３　国際投資
１４　海外援助
（成果発表）
１５　学生によるプレゼンテーション

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

【評価方法】
授業内ディスカッションへの積極的な参加（20点）、プレゼンテーション（30点）、レポート（50点）により、到達目標の達成度を評価する。

【評価基準】
A＋：100点～96点
A　：95点～85点
B　：84点～75点
C　：74点～65点
D　：64点～60点
F　：59点以下

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

指定する文献の講読、授業中のディスカッションの準備など、必要な予習復習は授業中に講師が指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

法学政治学初学者や理系学生の受講を歓迎する。

面談を希望する学生は、(1) 名前・学籍番号・所属、(2) 面談希望日時第（ 第3 希望まで）を書いて、電子メールで連絡されたい。

[主要授業科目（学部・学科名）]